

平成28年3月22日
 東部農林振興センター 出雲農業普及部

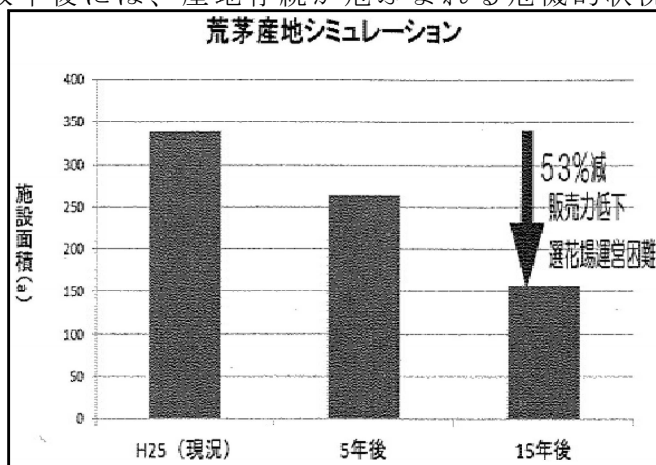
標 題 荒茅電照菊部会の担い手を育てよう！～菊チャレンジ講座編～

(ダイジェスト)

出雲市荒茅地区は、島根県の輪菊生産を牽引する産地ですが、高齢化等により栽培面積、生産額は減少傾向にあります。そこで、産地として担い手育成に力を入れていこうと、平成28年から出雲市アグリビジネススクールに「菊チャレンジ講座」を開設し、8名の受講生が菊栽培を学んでいます。

荒茅地区は、平成10年頃にハウス団地の整備や共同出荷調製施設整備（選花場）等により、生産拡大を図り、島根県の輪菊生産を牽引してきました。しかし生産者の高齢化とともに、平成13年には25戸だった生産者も26年には8戸まで減少し、生産量も1,786千本から500千本に減少しました。このままでは数年後には、産地存続が危ぶまれる危機的状況にあり、その危機意識から部会でも担い手育成に取り組む必要性を認識しました。

一方では近年、斐川町、松江市の新規就農者が荒茅の電照菊部会の一員となり師弟関係を築いています。そうした背景の中で、新規就農者を確保し育てるしくみづくりを、技術普及部と連携し提案し、その一歩として、出雲市アグリビジネススクールにおける新講座「菊チャレンジ講座」の開講に至りました。



部会員から作業の説明を受ける受講生

当初、受講生が集まるか心配しましたが、募集をかけると8名の受講生が集まり、意欲的に菊栽培について学んでいます。講座では、部会員のほ場で実習させてもらっており、チャレンジ講座の段階から部会員と関わってもらうことで、将来の師弟関係につながり、より産地に入りやすいのではと考えています。

この8名の受講生の中から、産地の担い手として一緒に菊栽培に取り組んでもらえる生産者が生まれることを期待しています。

出雲普及部としては、関係機関と連携して、この菊チャレンジ講座を充実したものにし、今後の担い手確保につなげていきたいと考えています。

担当者	出雲東地域振興課	北川絵理	TEL 0853-30-5603
-----	----------	------	------------------